

感想・メッセージ

譜久山剛先生

〈医師〉

- ・今まで自分がふれたことのないお話を聞くことができ、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日はご講演いただきまして、ありがとうございました。
自分が現在所属している病院は急性期病院となっていますが、急性期病院としては機能面にやや不十分な点があり、個人的には病院としての在り方を考えるべきなのではないか、ということを感じていましたが、今日のお話を聞いて一つのモデルをしっかりと知ることができ大変参考になりました。
- ・本日は、ご講演いただきまして誠にありがとうございました。
医学生時代、臨床実習は主に大学病院で行い、大規模な病院のイメージだけが自分の中でできていった後、200床程度の病院で研修をはじめました。
大学と比べ、できないことや診れないことなどが思っていたよりも多く、自分が今やるべき役割のようなものが分からなくなったこともありましたが、本日、先生のお話を拝聴し、中・小規模の医療機関だからこそできることもたくさんあることを学びました。
今回の学びをもとに、今なにができるか改めて考えていきたいと思えます。
- ・講演、ありがとうございました。
- ・「また来てね」
緩和ケアにおける看取りの場の提供→いかにプライベート空間が大切か。
地域医療、災害時の避難場所になり得るかは周囲の人々の意志を聞くことの大切さを知った。
先生の話を知っていると何かを始め出したらいろいろ見えてくるのが分かりました。
自分がしたいことも大切ですが、地域のニーズにこたえていくことも貴重なことなので改めて勉強させていただきました。
- ・新しい病院を創るために自分たちだけでなく「地域の人に訊いてみよう」が参考になりました。
- ・全てが実現できたら本当に素晴らしい病院だと思いました。
医療スタッフだけではなく、行政の人達、地域の人々達と一緒に医療を創っていく姿勢が見え、とても感動しました。
- ・患者個人を超えて、まちづくりまで考えてこの仕事をしているのがすごいと思いました。

〈コメディカルスタッフ〉

- 患者さんに「また来てね」といえる病院にできるよう努力したいと思います。
- 患者さんに「また来てね」といえる病院にしたいと思います。
一人一人の接遇が大切だと痛感しました。
- 遠い所から来てくださり、ありがとうございました。
なんだか明石市が懐かしく感じました。
地域の中での医療は大変難しいと思います。
地域の方、行政の人、社協さん、他もろもろの方が協力して病院が成り立つのでしょうか。
大変参考になり、私達も再度、地域に根づく病院にしたいと思いました。
- これからの医療にとって必要なのは緩和ケアだと思います。
平戸の地域にはないので、痛みの緩和だけでなくメンタル面などの配慮等、対応が困難であると思います。貴重な講演、ありがとうございました。
多美子さんの日実現と継続、すごいですね。
- 地域医療として、地域にとけこむために病院の在り方を一から考え、根づいていこうとする努力が素晴らしかったです。
医療以外でも、病院に来てもらうように垣根をなくすことがすごいと思いました。
- 地域医療に対する考え方にとても感動しました。
私の病院の Dr もみなさんが譜久山先生のような Dr だったら患者さんも幸せなんだろうと思いました。
看取りの考え方が先生と同じです。やりすぎは終末医療に悲しくなることがあります。
先生のいる病院で働けるスタッフは幸せですね。
- とてもいいお話を聞かせていただき有り難うございました。
- 病院から地域の方々と一緒に取組もうとされていることが分かりました。
ありがとうございました。
- 譜久山先生は病院の建物の説明からお仕事を紹介していただきました。
患者さんにとって魅力がある病院とは医療技術だけではなくて病院の環境や自分の気持ちを聞いてもらえるかということが大切です。ということも譜久山先生はとても大事にされていることと感じました。日本、地域でこんな頑張っている先生がいらっしゃって励まされました。
- 「また来てね」という病院というのがとても印象的でした。
- 自分が働いている土地をより理解し、何が求められているのかを考え、それを実行している姿というのが大変印象に残りました。「また来てね」といえる病院というのはすごいと思います。

〈その他〉

- 患者様や家族の事を考えた病院づくりは素晴らしいと思った。
地域の方が寄りやすい場所が大切。
- 病院内がとても開放的で、広々としていて良い印象を受けました。
外来や入院患者様だけでなく、家族やお見舞いの方の気持ちも考えられているようで感心しました。
病院らしくないのに暗いイメージもなく、安心感がありそうでした。
- 気軽に患者様が受診できる病院、いろいろな人と触れ合える病院というのはいいと思いますが、なかなか病院として取組むとなると難しいのかなと思います。しかし、患者様がまた来たいと思ってもらえる病院造りはしていくべきだと思います。
- 今日は大変貴重なお話をありがとうございました。
お話が今後の仕事に生かせたらなあと思いました。頑張ります。
- 実は、当院も建て替えを検討しています。
まさに、医療・福祉を中心とした町づくりを考えています。人が集まる病院を目指しています。今後、見学させてください。
- 移転建て替えを考えている病院があり、どのような機能を持たせるかの良いヒントになりました。ありがとうございました。
- 「ドラマティックでない病院がほとんど」という言葉が印象的でした。
Ready for の活用、テーブルの寄付が興味深かったです。
病院づくり、コミュニティづくりの視点も興味深かったです。
医師の多様な生き方を感じられた。
- 病院の構想について、院内の一部の方で話し合うのではなく、地域の方の意見を取り入れるという発想がすごいです！
本棚やテラス、園芸やホール、周辺の地域のまちづくりを実現されていて本当に意味のある話し合いをされているのだなと思いました。
自分のことを振り返ってみると、ワークショップの意見はモチベーションにはなっていますが、形にするのはとても難しいです。(落としどころや予算面) 一度は見学に行きたいです。
ふくやま病院での緩和ケアと基幹病院とのタッグもすごいと思いました。

〈医学生〉

- 自分が将来やりたいと望んでいた理想の町医者をはほとんど実現されていたため、今後参考にさせていただきたいと思うことがたくさんありました。
ご講演ありがとうございました。

- ・患者さんが過ごしやすい、通いやすい病院という視点から理想の病院をつくられていて大変素晴らしいと思いました。

まち医者がどういう存在なのかという言葉が今後の勉強の中で意識すべきこととして印象に残りました。
- ・「また来てね」といえる病院ということで、今まで見たことも聞いたこともない病院の話をしてくださり、驚きと共にすごいなあと思いました。地域と共にあるような医師は、医療をするだけが求められている訳ではないということを改めて実感しました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・新しくした病院の部屋やテラスの配置などの解説を詳しく聞くことができたのも新鮮な体験であり、(設備などの面から地域医療のお話を伺うこともなかなか無いので)、自分は先ほどの訪問実習で訪問診療に行き、地域医療に触れてきたばかりだったので、この機会に譜久山先生のお話を伺うことができよかったです。
- ・心に残るようなメッセージの引用が素晴らしいと思いました。

「まちの課題を自分のこととしてとらえ、まちの人と一緒に悩みながらあがく医療のことをまち医者というんじゃないかな」という内容には地域密着型の自分の目指す医者のしるべとなるのではないかと思います。
- ・地域と一緒に悩み、成長していけるような医師を目指したいと思います。

講演ありがとうございました。
- ・まちのお医者さんとして、病院だけでなく、周りの環境も変えていっているお話を聞き、本当にすごいと思いました。
- ・とても素敵な病院づくりをされていると思いました。

また、「多美子さんの日」のように患者さんに寄り添っている姿が非常に印象的で心に残りました。
- ・緩和ケアのお話など、大変印象に残りました。

患者さんが元気を取り戻せるように工夫し、皆で協力することが大切なのだと思います。
- ・先生の継続を具体的に聞いてよかったです。
- ・結構、現実味のある将来の話だったので、「自分もこんな診療をするのかな～」と考えていました。患者や地域住民のことを第一に考えた結果のきれいな病院となっていて、すごいと思いました。

もし、自分が開業することがあれば、自分が考える「コンセプト」を形にできるように、見習いたいと思いました。
- ・先生が実際に行った患者さんへの対応のことが聞けたことが一番ためになりました。患

者さんと一緒になって考えることというのは、口ではよくいうが本当に現場で考えた案がなくなったときに、どうすればいいのか、その時こそ一緒に答えを探していくことが大事なのだと、経験をふまえた先生から聞けてよかったです。

- ・ 譜久山先生が目指しておられるふくやま病院の理想像や理念に感動しました。

病院は堅苦しいものだというイメージを崩し、病院の新しいイメージを地域の方々に示して、地域医療を発展させていくのも一つの方法なのだと知りました。本当に参考になりました。

有意義なお話をありがとうございました。

- ・ 貴重なお話、本当にありがとうございました。

「地域の医師」としてを越えるお仕事、とても感動いたしました。

将来、自分が病院を開くときに真似したいと思えるものも多く、特に「医局+」という考えは絶対やりたいと感じました。

機会がありましたら、またお話を聞かせてください。

〈学生〉

- ・ 「緩和ケア」は患者さん（がん患者さん）たちに質の高い生活を送れるという考えはとても素晴らしいです。

- ・ 譜久山先生が病院を建てる際に、どれほど地域とまち、また患者さんの視点を考えているのかが分かりました。「地域医療」はまちに溶け込むような病院づくりが大切なのだと思います。

- ・ 普段、聞けないお話を聞くことができとても良かったです。

地域に密着した病院をつくろうと頑張っておられ、素晴らしい取り組みだなと感じました。

- ・ 病気ではない人も、みんなが通うことができる病院をつくっているところがよかったですあとと思いました。

終末期の人が最後まで思う通りに過ごすことができ、みんなが通いやすい病院にすることが大切だということが分かりました。

- ・ 病院自体の建物の構成が他の病院とは変わっているけど、住民にとって居心地のよいスペースがあったりして良いと思いました。

患者主体の支援がされており、この講義は今後勉強していく上での参考にしていきたいと思いました。

- ・ 皆が思う病院のイメージとは違うアットホームな病院のイメージを持ちました。

病院だから、ケガや病気になったから通うのではなく、町の避難所であったり、就職説明会等での活用の為の病院、気軽に通える病院にすることで、患者さんだけでなく、地

域住民が信頼できるような病院になるのではないかと思います。

- ・患者さん、その家族、まちの人々を考え、様々な工夫がなされている病院について知ることができ、とても勉強になりました。
- ・心臓マッサージの話でその時代の当たり前が正しいと思われなかったように常に疑問や何が正しいのかではなく、PT や家族が知って良いのかを考えていくことの大切さを感じました。

永森克志先生

〈医師〉

- ・地域包括ケアシステムが地域、社会に与える影響の大きさを感じました。
地域の人々と連携して様々な面から医療を支えていくことが大事だと感じました。
- ・研修医 2 年目です。患者をよくする。そのために自分を高める。その先の人材、構造の創造、まちづくりといった大きな目的、視点を見せていただきました。精進します。
- ・ささえる医療、愛着、ものがたり、心に刻みます。
- ・今回は、ご講演いただきまして誠にありがとうございました。

地域を盛り上げる最適な方法として、地域住民から人材を発掘することは、その副産物も含めて非常に良い戦略だと感じました。

医療を提供する上で患者さんを主体としていくことが大事であることと、地域医療を軌道にのせる上では地域住民が重要になっていくこととは共通する点があるのではないかと考えました。

また、「誰かがやってくれないかな」ではなく、「自分がやる」という姿勢は現代社会に欠けていることだという話に共感しました。

- ・医療は町の行政の中でも大きな割合を占めており、医療者は地域との関わりを模索し続けていかなければならないと考えていたが、村上医師の活動を聞き、やはり一筋縄ではいかないと感じると共により多くの医師が積極的に取り組むべきであると考えました。
- ・本日は講演ありがとうございました。

村上先生と永森先生の今までの活動について勉強させていただきました。覚悟、愛着、ものがたりの三つの Key word をしっかり覚えておきたいと思います。地域医療の現場、生き方の質、様々と考えさせられました。

次の世代に仕組み、人材が受け継がれる *take his message* にさせていただきました。

- ・大変興味深いお話をありがとうございました。
いつも気になっていた病院や医療施設が地域のニーズに根ざしていないという疑問の一つの答えを訊けたように思います。

三次医療機関に看取るべき人を紹介し、最後を受け入れて過ごすベッドのある施設が無い現状に、遠からぬ医療制度の破綻を感じていましたが、素晴らしいです。モデルケースを学ぶ事ができました。「皆で助け合う医療」を考えていきたいと思えます。

〈コメディカルスタッフ〉

- とても素晴らしい講演を聞かせていただきありがとうございました。
夜勤明けで参加させていただきましたが、眠たくもならず聞き入りました。
平戸市も高齢化が進み、色々な課題が多くあります。
これからも自分の大切な家族や地域の方々が笑顔で安心して暮らせるよう微々たる力ではありますが、頑張っていこうと思えました。
平戸市がオキシトシンでいっぱいあふれるといいなと思えます。
ありがとうございました。
- 「ささえる」医療のためには、患者のことを考えるのではなく、血縁地縁の仲間を大切に
する、働く側も大切にするというのは新しい視点でした。
- 久しぶりに脳が洗われたようなお話でした。
今の日本の医療は必要というより「無駄延命」が非常に多く、とても「生き方の質」を問
う医療ではないと僕も考えています。
戦後、日本は残すべき大切なものを忘れて、取り入れてはいけない不必要なものを取り込
み過ぎていると感じます。
2050年、日本全体が生活習慣病（医療ばかりでない）におかされてしまわないかと考え
ています。そうならないよう僕たちの役割を果たしましょう。
- 村上先生と先生方との足跡を医療関係者だけでなく、できるだけ多くの市民の方にも知
って欲しいと思えました。
職種も問わず、フィールドを問わず、大切なものを学びました。
とても勉強になりました。

〈その他〉

- 恥ずかしながら、村上先生を存じ上げておりませんでしたので、本を読んだりした上で、
また永森先生の話を知りたいと思えました。
色々と固定概念を崩してくれる講演でした。
例えば、癌の看護師さんが楽しそうに訪問診療されている写真が印象的でした。
医療提供者と患者さんをわける固定概念があったことに気が付けました。
- 地域の特性、最西端の予防、すごかったです。
ワクチンの公費助成と口腔ケアの成果も興味深く、肺炎の発症率低下を健康教育の浸透が
とても良いと思えました。

地縁、血縁とは初めて聞きましたが、よく考えるとその面も身近でもよくあるなど気づきました。

- ・人材とシステムを残す事を出来ることが一番大切な事だと改めて感じました。
- ・感動しました。
- ・次世代につなげることの大切さを感じ、今後も活かしていけるようにしたいです。

〈医学生〉

- ・人まかせではなく自分で行動する力が大事なのだなと思いました。
- ・心に残る講演をありがとうございました。
- ・地域を次世代に残せるものは、仕組みと人材しかない。

「誰かやってくれ！」ではなく、自分がやらなければならない。この二つのことが胸に刺さりました。

自分が将来医師として何をやっていくのか、何がしたいかをしっかりと考えていこうと思います。

- ・やはり、一番初めの「最強の地域医療とは住民の愛着、覚悟、ものがたりで支えられる医療やケアであり、専門家や行政に与えられるものではない」という村上先生の言葉が最も印象的でした。

村上先生が命懸けで全うした『最強の地域医療』も私たち学生も継いでいきたいと感じました。

- ・大変ためになりました。
ありがとうございました。
- ・村上先生の地域医療に対する考え方がとてもおもしろいと思いました。地域包括ケアをすることで、中核病院がつぶれても被害が出るどころか、むしろ良くなっていることに驚きました。それに加えて、医師の能力に頼るのではなく、その地元の住民とのつながりを大切にするすることで、たとえ高い能力のある医師を必ずしも必要としないようになることができました。
- ・地域と一体となって人材の発掘をすることは、地域の病院にとっても地域全体にとってもいいことだと思いました。
- ・病気ではなく病人を見る。

地域医療は単に地域に寄り添うだけではないのだと思いました。

もちろん、やってみなければ分からないこともたくさんだが、今回の講演の後半は完璧に医師が地域に密着できた例だと思いますので、是非成功例は参考にしていきたいです。また、これだけ答えがないような問題に答えを出した先生の言葉は重みがあり、自分もそんな言葉を残せるようになりたいと思いました。

あと、友人は必ず大切にしようと思いました。

- ・途中で笑いを交えながら村上先生の活動について学ぶことができ、とても良かったです。

結局、日本全体が今のへき地の状態に将来なるので、地域医療を学ぶことはある意味最先端医療を学べるので、とても有意義なものでした。

参考にしていきたいと思います。

- ・愛着、覚悟、ものがたりというワードがとても心に残りました。

また、先生はまちのことも考えた医療を提供なさっているということで、将来、生まれ育った地域の医師として働こうと考えている自分にとって、とてもためになるお話でした。ありがとうございました。

- ・地域や血縁、友達による関係は生きていく上、そして治療をする上でとても大事なのだと改めて感じさせられました。

本日はご講演してくださいまして、ありがとうございました。

- ・地域医療で医療従事者を中心とした医療ではなく、コミュニティの地縁血縁を中心として医療従事者がささえる医療を提供していくのは、自分の中で新しい考えでした。
- ・地域医療に対する見方が変わったというか、広がったように思います。

ただ、頑張るのではなく、しっかりと考えた上で医療をしていくべきと思いました。

〈学生〉

- ・人とのつながりが非常に大切だと思いました。

地域医療を考える上で、みんなが住みやすい愛着がわく町にするにはどうすればいいかを考えることが大切だと学びました。

- ・村上先生の人生は、仕事もプライベートにも全力で、他人のことを第一に考えていて素晴らしいと思いました。

仲間が増えることは、心だけでなく体も健康になるということを知ることができました。

- ・笑いも混えながら楽しいご講演でした。

村上先生の生活や地域医療を知れて、とても良い経験をする事ができて良かったです。

- ・村上先生のことを知ることができてよかったです。

- ・誰かのお手本、次の世代へ、自分の行ってきたこと、また人生そのものが誰かに影響を与えられる存在である村上先生は素晴らしい人だと思いました。

- ・まちづくりの事もよく考えていてすごいなと思いました。

その町の現状をよく理解していないと町づくりは難しいと思いました。

- ・ありがたいお言葉ばかりいただきました。

福祉の立場として、「ささえる医療」をサポートできるようにこれから学んでいきたいと

思いました。

- ・永森先生と村上智彦先生が地域で行っていることが、とても楽しそうと思います。稼ぐお金を本当に社会に戻すことはとてもえらいと思います。こんなに自分のお仕事を楽しんでいる先生を初めて知りました。ドラマみたいな感じがしました。覚悟・愛着・ものがたりという考え方でドラマのような人生を楽しく送れると思います。

黒田格先生

〈医師〉

- ・私ももう少し若ければ行っていたかもしれません。
幅広い知識と見識を持って自分を磨いていってください。
- ・本当の離島医療とは南大東島のような環境であるのだろうと考えました。
うわー頑張っているなーと思います。刺激になります。
決意、勇気などが伝わりました。
血液検査、画像検査などに頼らず、一生懸命患者さんを診て、地域に根ざしているのかなあと思いました。
- ・先生のご講演を拝聴し、離島医療の特徴の一つである、「どの領域の疾患も診る」という点は、離島以外の一次施設でも本来理想とされる事ではないかと考えました。全てをカバーするというのは難儀ではあると思いますが、我々医師一人一人が研究すべき姿勢であると感じました。ご講演、誠にありがとうございました。
- ・本日はどうもありがとうございました。
医師 4 年目から一人で島民を診ているということで、日々苦労があると思いますが、先生の面白み、喜びと楽しい話を聞き充実して医療を行っているのだと思いました。患者の搬送の判断は本当に難しいだろうなと思いました。
全般的にみなければならぬ大変さもあると思いますが、これからも頑張ってください。
- ・本土との距離があるような離島に、もし自分が行くようなことがあれば、自分に何ができるのだろうかと考えましたが、それは離島という環境に限ったことでなく、自分がどこにいても常に意識しておくべきことだと改めて感じました。
- ・まだ若い段階から離島医療に携わるのは並大抵の覚悟ではないと感じました。
限られた医療資源の中で診療をするのは、普段と異なる知識や技術が必要であり、今の病院でも問診や身体診療を大切にしたい。

〈コメディカルスタッフ〉

- ・南大東島からの中継によるご講演、どうもありがとうございました。
ご活躍をお祈り致します。

- ・介護施設をつくらず、島の高齢者を最後まで支えるシステムを作ってほしいです。これこそ、これからの先進医療と思います。
- ・お若いのに、離島で一人でとても素晴らしいと思いました。
ありがとうございました。
離島で誰も頼る人がいない中、先生の熱意がとても伝わってきました。
これからも頑張ってください。
- ・島で一人で仕事をしていくのは、とても大変だと思いますが、島民のために頑張ってください。ありがとうございました。
- ・楽しそうに仕事をされている印象で素敵でした。

〈その他〉

- ・誰もができる事ではなく、大変な情熱と才能がなければ継続する事ができないと思います。黒田先生には体を壊さず頑張ってください。
- ・船で15時間、絶海の孤島で逃げる場をなくした挑戦、すごいです。
4年目で一人だというのが、一番驚きましたが、黒田先生ならやれるなと思いました。自分もそのような覚悟をもって地域でやっていきたいです。
- ・島の医師として頼り甲斐がある印象を受けました。
逃げられない状況で、どんなことにも対応していくバイタリティーを見習いたと思います。
- ・介護施設が殆どないなど限られた社会保障の中で、地域包括ケアシステムの構築は大変と存じます。幸い顔のみえる関係を構築されておられるようなので、すばらしい地域づくり＝地域包括ケアシステムをなさってください。
- ・すばらしい
- ・島でたった一人の医師として、絶対にあとがない状況の中で、「楽しい」と仰っていたのが印象的でした。

〈医学生〉

- ・医師4年目で一人で島の医療を背負う決断をされた勇気が本当にすごかったです。
- ・現在、離島の診療所で医師をされている先生からのお話だったが、特に本土の方へ患者さんを送るのかどうかの判断というのが難しそうだった。先生のように離島の診療所で働くのなら、救急をもっと勉強しなければならないと感じました。
- ・南大東島に一人で島民の方の健康を守る医師として働く黒田先生のお話を聞くことができ、将来地域医療に携わる医師を志す自分にとって大きな糧になったと感じました。
- ・医師4年目で島でたった一人の医師として働き始めた時のプレッシャーはすごかっただろうと思いました。大変そうだけれど、やりがいもあるのだと思いました。

- ・研修医という期間に島で働くという状況や、島での医師としての働き方ややりがいなどをお聞きできて良かったです。
- ・離島医療に従事している先生のお話を聞くことができ、良かったです。
- ・一人で全島民の医療を担うことの責任の重さとすごさを感じました。その中でも離島医療を楽しいと言える黒田先生は本当にすごいと感じました。
- ・医師一人で島民の命をあずかっている状況はとても過酷で大変だと感じました。忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。
- ・地域枠で入学した学生として、医師の少ない地域で医師として働くのを意識することは少なからずありましたが、実際に一人で離島医療に携わっていらっしゃる先生のお話を聞くのは初めてで、本当にとてつもなく貴重なお話に感謝しています。
- ・医師 4 年目で、たった一人で島の医師を勤めていらっしゃるの、本当にすごいと思いました。自分も黒田先生のようになりたいと思いました。

〈学生〉

- ・島で一人で医師をすることの大変さがすごく分かりました。
地域に住む一人として生活され、患者さんのために働く黒田先生は本当にすごいなと思いまいた。
- いろいろなことを経験されてきたからと思いますが、考え方がとっても前向きで素敵だなと思いました。
- ・南大島というとても小さな島で全科担当する先生はすごいと思いました。
横のつながりを強くすることで信頼感を得ることができるのだと気づきました。
- ・沖縄でも遠いと思っているのですが、さらに遠い島でお仕事をされているということで大変なこともあると思うのですが、素晴らしいと思いました。
- ・地域包括ケアシステムのことを学ぶことができ良かったです。
島にはあまり医療従事者がおらず、みんなで助け合うことが大切だということが分かりました。
- ・研修後すぐに一人で離島医療をしようと思ったことがすごいと思いました。
- ・沖縄の中部病院は非常に厳しいと聞いていたので、どのくらい体育会系なのか次回、教えていただきたいです。
- ・黒田先生はとてもかっこいいと思います。島でただ一人として何でもする先生はえらいと思います。

佐藤隼人先生

〈医師〉

- ・人を救いたいという情熱から医師になれた人は意外と少ない。その気持ちを持ち続けて頑張ってもらいたい。
- ・世界を見て日本に役立てたいという想いを大切にしてください。
- ・キャリアの積み重ねに一本筋が通っていると思いました。
- ・先生のご講演を拝聴し、医療従事者の供給を他国、他地域に依存しているコミュニティが存在するという事実に驚きました。

圧倒的に医療従事者が不足状態にあることを考えますと、今後どれだけの人が、これらの地域を訪れ仕事をするかという点も大事ですが、それ以上に現地での人材育成の場の構築など根本的な改革が必須ではないかと考えました。

今後、日本が上記のような形の貢献をさらに果たせればと願います。

- ・医師としてではなく、海外での医療現場を見て、自分も何かできたらと思い医師を目指す志は立派なことだと思いました。

海外に行ったことはないのですが、多職種、他国との比較から得られるものは多いのだと感じました。勉強頑張ってください！

- ・途上国における医療サービスの不十分さと日本国内のへき地医療が抱えている問題はとも似通っている点が多いと感じました。

お互いに情報をフィードバックすればよりよい医療サービスを提供できるのではないだろうか。

- ・MSに興味があるので面白い内容でした。

世界には、まだまだ医療の問題が山積みであると思いますので、少しでも役に立てたら良いと感じました。

- ・発展途上国で活躍している日本人の医療スタッフがいるということを知れてよかったです。

日本におけるへき地医療にもつながるが、大病院で当たり前のことが当たり前ではないということを感じてよかったです。

〈コメディカルスタッフ〉

- ・ケニアで命を落とされる人が、日本では救われるという現実を知り日本で勉強し、また、ケニアに行かれるとの事。とても大変なのにと感激しました。今後も御身体を大切にしていきたいことと、御活躍をお祈り致します。

そして、医師になられて地域医療を頑張ってください。

- ・そんなに先ではない目標を達成したら、パートナーと一緒にどこかで頑張ってください。

・とてもいい講演を聞き、本日参加して良かったと思います。

・医学部目指しいてすごいなと思いまいた。

頑張って医師としてまた、是非来てください。

元気をもらえました。

〈その他〉

・ケニアの現状など知りませんでした。

人との志のつながりにとても感動しました。先生が医師になってできることは普通の方より多いと思います。応援しています！

・JICAでの経験をもとに地域医療に貢献される医師になってください。

・すばらしい

〈医学生〉

・すごくバイタリティーのある方だと思いました。

とても良いお話でした。

・海外にも、日本のへき地のような、あるいはそれよりも整っていない医療の現場がある。

途上国にも目を向けてみることも必要と思いました。

・塩尻先生に関するスライドに関して、塩尻先生の「ケニアでは助けられない人が日本では助けられ、ケニアでの自分の『当たり前』が崩れた」という言葉が印象的でした。

・今まで海外のお話を聞く機会もあまりなかったので、とても新鮮でした。

・離島などとは違った意味で孤独になってしまう海外。特に発展途上国で医師も病院も少ない状況で働く医師の紹介や、ご自身が調査に行ったときの様子などを聞くことができよかったです。

・ケニアの医療について知れてよかったです。途上国であれ、離島であれ、専門的な知識を持っておくのが大切だと思いました。

・自分のやりたいことを明確に持って夢の実現に向かって努力する佐藤先生の生き方に尊敬の念を抱きました。

受験、頑張ってください！！

・非医療人という立場で、発展途上国の医療について考えられたことを聞く事ができて、大変勉強になりました。

そして、そのような経験を経て、改めて医師を志望されるようになった佐藤先生の志に感動しました。

世界には、まだまだ自分の知らない世界がこんなにもあるのだと実感し、刺激を受けることができました。ありがとうございました。

・すごい人生だなあと感じました。そんな風に熱い思いをもって人生を送れたらと思いま

した。

- ・海外を医師とは違う視点で見て医師になろうと決意したことがすごいと思いました。
- ・将来、国際的に途上国で働きたいと考えているので、とても興味ある話だった。これから医師になっていく身として、将来働く場における医師以外の視点は必ず心に留めておきたい。後で会えるうちにたくさん話を聞きたいと思わせてくれるお話でした。
- ・ケニア、バヌアツでの活動の話聞いて、その住民の方達とコミュニケーションをとることで信頼関係をつくっていたので、貧国の地域だからこそ、そういったことが大切だと思いました。

〈学生〉

- ・日本を出て海外で働いておられた貴重なお話を聞くことができよかったです。
途上国での医療の当たり前と日本での医療の当たり前が違うということを知りました。
- ・海外での仕事とかには、とても興味があったので興味深い話を聞いて良かったです。
- ・海外のスラムの人々のためにできることを尽くしている先生は人とのつながりを大切にしているように感じました。
- ・海外での仕事をするのでも大変なことだと思いますが、海外での医療をみて先生も医者になって助けようと思ったのが、素晴らしいと思うし実際にしてほしい

岩田知真先生

〈医師〉

- ・病気ではなく病気の「人」を診るというお話に共感いたしました。
ご講演、誠にありがとうございました。
- ・医療経済もそうですが、患者さんにとって本当に必要なことは、何かを考えて医療を行う必要があるのだと学ばせていただきました。
- ・海外医療と地域医療の連携やりましょう。systemづくりいいですね。

〈医学生〉

- ・医師になりたいと考えるようになった理由に驚きました。
- ・地域医療に携わるなんて考えてもいなかったというお話を聞き、医師の人生には色々あるものなのだなあと感じました。
- ・岩田先生の卒業時の頭の中の漠然と大きな海外医療の図を見た時に、本当に『あっ！自分に似ている・・・』と思いました。今は医3年ですが、地域卒のため地域に9年間行くことが決まっています。Visionがまたはっきりとしました。ありがとうございました。
- ・地域医療に携わる前に、「田舎の医療なんで・・・」と思っていたのが携わった後には地域の人たちとふれあえるのが良いと、思いが変化したというお話が印象的でした。

- ・環境を次々に変えている。
- ・地域医療と海外医療は共通点が色々あるとははじめて気づきました。
- ・地域医療と海外での医療の共通点、昨日までのお話と少しつながる部分があった。
- ・地域医療をやっていく中で学べること、学んでいかなければいけないこと「病」より「人」を診るということを学ばせていただきました。
貴重なお話を本当にありがとうございました。
- ・地域医療に目覚める過程が興味深かった。

〈学生〉

- ・医師は病気ではなく人を診ることが大事だと改めて思いました。
地域医療と海外医療をローテーションし、多面的に見ることが大切だと思いました。

小田真哉先生

〈医師〉

- ・医学部進学前に様々なご経験をされていたとのことですが、それらのご経験がどのように医療に活かされているか興味深く感じます。
ご講演誠にありがとうございました。
- ・色々な経験から見えてくるものも多くなるのだなと（医師不足や医療不安）思いました。

〈その他〉

- ・離島勤務を苦に思わない意志の強さに感心した。

〈医学生〉

- ・まわり道と仰っていましたが、様々なことに挑戦をして経験を積んでいくことが大切なのだろうと思いました。
- ・たくさん、様々なことを経験されているお話を聞き、私ももっと色々なことにチャレンジしなければいけないなと思いました。
- ・沢山の経験が大切だなと思いました。
- ・診る人数が少ないからといって経験が限られたものになる訳ではないというお話が印象的でした。
- ・30才で人生を決めている
- ・様々なご経験をされてから医師になられたということで様々な患者さんにより共感できるのかなと思いました。
- ・高2の時に、上五島病院での研修をさせていただいたが、その時にもお話をさせていただいた記憶がある。様々な経験をした上で今があるということが大変すごいと思いました。
- ・地域医療を志す中でイメージしづらかった研修医や先生の生活を今まで以上に、具体的に

に知ることができました。本当にありがとうございました。

- ・医学だけでなく、多くを学ぶことが大切だと思いました。

〈学生〉

- ・人とのつながりがとても大切なことだと実感しました。

学生のうちからつながりを大切にしていきたいです。

本石裕也先生

〈医師〉

- ・プライマリケアとは具体的に、どのようなものか少し理解を深められたのではないかと思います。

ご講演誠にありがとうございました。

〈その他〉

- ・三者三様、それぞれの離島、へき地の特色が良くわかる講演でした。
- ・医師という志と目標がしっかりしていて勉強になった。

〈医学生〉

- ・対馬での医療について詳しく知ることができ、とても勉強になりました。
- ・実際に地域枠を卒業した後をどうするのか、どうなるのかというお話をちゃんと聞くのは初めてだったので、とてもためになりました。
- ・離島での楽しい医療を聞くことができました。
- ・地域枠の卒業生が実際に働いている様子について聞くことができよかったです。
- ・患者さんの生活背景を考えるとという言葉がとても印象に残りました。
- ・地域枠の先輩が具体的に何をしているのかが分かりました。面白かったです。
- ・離島医療の現場でのご経験を話していただきありがたかったです。
- ・地域枠の一期生の先輩ということで、話を聞くことができ本当に良かったです。
患者さんのことを考えて医療をする医師になりたいです。

- ・プライマリケアの知識、地域の知識、専門知識、そしてそれを適応させていく大切さを再確認させていただきました。本当にありがとうございました。

- ・患者さんの背景を見ることを意識したいです

〈学生〉

- ・退院後どのような支援をするか、患者主体に考えることが大切だと改めて思いました。